

日時：2013年1月25日 17時頃～1時間弱

場所：京都大学原子炉実験所 事務棟小会議室

参加者：松尾、関本、大槻、大浦、葉袋、久保、箕輪、高宮（着席順）

#### 1. 分析展2013のセミナーテーマに関して

- ・研究会のランチセッションで、この件について事前に議論を行った。  
ここで出た意見・議論の内容は、松尾代表幹事が別途三浦氏に連絡する。

#### 2. APSORC2013に関して

- ・JA3としてどのように寄与するか、独自に何かイベントを行うか等を検討した。  
例えば、招待講演者（外国人）を推薦する事が考えられる。  
行事担当の大槻氏より APSORC の program committee に連絡をとり、引き続き検討を重ねる。

#### 3. 新ドメインでの web サービスに関して

- ・現行の ML は JA3, JA3-kanjikai とともに基本的には work している。  
ただ、あらたにメンバーになった人が登録されていないという問題\*1がある。  
とりあえずは、現行のものを使うことを確認した。

#### 4. 会誌に関して

- ・No. 28 は、2011年に発行された。No. 29については、広告の原稿がないため、未だに発行できず。  
広告の原稿が出てこないのが一番の問題\*2。
- ・会誌の古い方の pdf 化は進んでいるのか？  
--->全て終了しているので、web 上でリンクを張って、見られるようにする。

#### 5. その他

- ・本研究会の事務局は開放研のままで良いか？  
--->どこかに事務局がある形を取る方がよい。従って、開放研のままで良い。但し、事務的な仕事は皆で分担して行い、開放研のみに負担がかからないようにする。
- ・会費請求書は会誌に同封するので、前回の請求は No. 28 の発行された 2011 年である。通常は偶数号で請求するが、一年以上間隔が開いているので、No. 29 に同封する。それでも 1 年分の会費が抜けてしまうが、会誌を発行していないのに請求するわけに行かないので、よしとする。
- ・名簿および、お金の管理をもっとフレキシブル（複数の幹事がアクセスできる）にすべきであるとの意見が出た。  
これを解消すれば、  
→事務局からの必要経費の振込に時間がかかりすぎている問題。  
→上記\*1, \*2 の問題  
が解決される。この件は、澤幡幹事と相談の上、引き続き検討を重ねる。
- ・選挙規約の改訂については、海老原、松江両幹事に次回の幹事会までに対応してもらうことにする。